

財団法人日本私学教育研究所
平成22年度事業計画

はじめに

当研究所は、創設以来私立学校教職員の資質向上を目指した研究研修事業を実施しているが、時代の急速な変化や多様化する私立学校現場の要請に対応するためには研修内容の刷新が喫緊の課題となっている。

また、政府の新たな教育政策では、「教員の資質向上のための養成と研修の充実を図る」とした教員の資質向上のための研修等の充実が求められている。

これらを受け当研究所では、初等中等教育における私立学校のシンクタンクとして、日本私立中学高等学校連合会と連携・協力のもとに教育政策に関する総合的な研究機関としての役割を果たすため、私立学校現場の要請を受け、今日的あるいは中・長期的な視点のもとに教育政策の企画・立案を行い、併せて緊急に解決が求められている政策課題について調査・分析を行い、それらの成果を的確な情報・指針として各私立学校に直接伝達する機能の強化が求められ、また他方、初任者研修や10年経験者研修などの教員育成としての研修については、その多様性を含めた研修体系の検討が必要とされる。

については、従来の「私学教員研修会」を抜本的に見直し、別添の資料「新たな一般研修事業について」をもって一般研修を改編するとともに、現行の「事業運営委員会」「研修研究運営委員会」および「初任者研修等運営委員会」を新たに設置された「研究・研修統轄会議」に統合し事業運営の統一化を図る。

平成22年度事業は、この研修事業の見直しを含め、寄附行為に定める「目的および事業」に基づき、文部科学省、日本私立中学高等学校連合会、財団法人私学研修福祉会、都道府県私学協会および関係諸団体の協力のもとに、次の事業を実施する。

〔1〕 学校教育および学校経営に関する研究

- 1 学校教育および学校経営に関する研究は、主任研究員1名、専任研究員2名、委託研究員30名がこれを行う。委託研究員については、全国の各学校に委託研究の案内を直接送付し37名の応募があり、研究・研修統轄会議において選考をする。

なお、研究事業要する経費に対し、文部科学省から国庫補助金が交付される予定である。

- 2 研究員は、私学の存在理由を踏まえ私学先導の趣意に立って当面する私学教育および私学経営上の諸問題等について研究を行う。

- 3 研究員主宰による研究会活動における有識者や現場教員の協力を得て、研究の充実拡大を図る。

- 4 デジタル教材開発に関する研究開発を行うなど、新しい教育への対応を推進する。

〔2〕 学校教育および学校経営に関する研修ならびに相談等

1 一般研修事業

本年度は、従来の研修事業体制を抜本的に見直し、全国組織として実施すべき基幹的な研修会を実施する。私立学校固有の問題で全国的なレベルで解決が必要とされる課題の研修に特化することを基本方針に掲げ、この方針の下、日本私立中学高等学校連合会との連携、すなわち、同連合会の運動方針を理論化し、それを具現化して各学校の教育実践に役立つ指針を示すことにより、全国の私立学校のニーズに対応するナショナルミニマムを満たす研修内容を企画・立案する。以上のスタンスに立ち、①喫緊の重要課題を扱う研修、②継続的に検討が必要な課題を扱う研修、③これらの研修会で扱った課題の研究を更に深化させ、全国に発信する研修、以上の3本柱を基本として、基幹的な研修事業を展開する。

具体的には、①喫緊の重要課題を扱う研修会として「私学経営研修会」を、②継続的に検討が必要な課題を扱う研修会として「私立学校専門研修会」（課題毎に必要な部会を設置）を、③これらの研修会で扱った研究を更に深化させ、全国に発信する研修会として「全国私学教育研究集会」を下記の通りに各々実施する。

なお、上記各研修会の研修内容の企画・立案は、昨年度末に新たに設置された所長直轄組織の「研究・研修統轄会議」の下に置かれた6つの専門委員会（私学経営、教育制度、教育課程、法人管理事務運営、国際教育研究及び次世代後継者育成）において行う。

更に、各地区及び各府県の私学協会の協力の下、各地域の私学教育の活性化及び私立学校教職員の資質向上に資するための研修会を実施する。

(1) 第58回全国私学教育研究集会

別表1-1（7ページ）の通り、第58回全国私学教育研究集会は、「時代を創造する人材の育成をめざして～私学教育の挑戦～」を研究目標に掲げ、財団法人私学研修福祉会との共催により、長崎県私立中学高等学校協会を実施団体とし、長崎県、佐世保市等の後援の下、平成22年10月14日・15日の2日間、ハウステンボス（佐世保市）を会場に、私学経営、教育課程、生徒指導、進路指導、国際理解教育及び特色教育の6部会を設置して、計700名の参加者予定者で実施する。

(2) 私学経営研修会

別表1-2（7ページ）の通り、私学経営研修会は、「政策転換期を拓く私学経営と教育」を研究のねらいに掲げ、宮城県私立中学高等学校連合会の協力を得て、宮城県、仙台市等の後援（予定）の下、平成22年6月3日・4日の2日間、仙台ガーデンパレス（仙台市）を会場に計150名の参加予定者で実施する。

(3) 私立学校専門研修会

別表1-3（7ページ）の通り、私立学校専門研修会は、課題毎に、教育制度、教育課

程、法人管理事務運営、国際教育研究及び次世代後継者育成の5部会を設置して、東京都内の会場（予定）に計400名の参加予定者で実施する。

(4) 地区別研修会

別表1-4（8ページ）の通り、北海道、東北、関東、中部及び四国の5地区において、各地区の実情を踏まえた研修会を計1,485名の参加予定者で実施する。

(5) 府県別研修会

別表1-5（8ページ）の通り、24府県において、各府県の実情を踏まえた研修会を計4,775名の参加予定者で実施する。

2 初任者研修等事業

教員の育成としての研修である初任者研修および10年経験者研修については、「教師のライフステージに対応した私立学校教員の資質向上」のもとに実施し、その研修内容の改善・充実に取り組んでいる。本年度は、下記の初任者研修および10年経験者研修を実施する。

(1) 初任者研修会

① 地区研修会

私立学校の新任教員を対象とし、全国の、私立中学校・高等学校を12地区、私立小学校を2地区に分けて、別表2-1（9ページ）の通り実施する。

② 全国研修会

私立学校の新任教員を対象とし、別表2-2（9ページ）のとおり実施する。

(2) 10年経験者研修会

私立学校の10年経験者教員を対象とし、別表2-3（10ページ）のとおり実施する。

(3) 指導教員連絡協議会

私立学校の指導教員52名（47都道府県各1および小学校5名）を対象とし、連絡協議会を2回開催する。

3 職能別実務者研修事業

教師のライフステージを考えると、校務分掌など、その時々職能に対応した専門性のある実務者としての能力や技能が求められる。そのため、担当する校務分掌や委員会などの担当職に応じた研修を企画・提供する必要があると考える。本年度から東日本・西日本の2地区で別表4（10ページ）のように、2種4研修会を実施する。

4 相談

関係諸学校から提起された私学の教育活動に関する問題についての教育相談ならびに私学経営に関する相談に応ずる。

5 個人研究生の受け入れ

個人研究生の要望がある場合には、研究目的等を検討し、若干名を受け入れ指導に当たる。

〔3〕 教育情報の収集ならびに提供等

1 私学教育および私学経営に関する情報の収集とそのデータベース化を図る。

2 インターネット上に開設している当研究所のホームページ「私学教育ネット」の運営によって、教育情報の収集・分析・創造・伝達・蓄積等を図る。

なお、「私立中学高等学校の補充入試ならびに転入・編入学試験」に関する情報の提供については、全国の私学協会の協力を得て、さらにその充実を図る。

また、「私学関係公募」においては、各私立学校からの求人案内をより多く掲載し、人材採用に役立つ支援を行う。

3 所蔵する私立中学校・高等学校の学校沿革史誌等の私学資料群のデータベースの構築を推進しその活用を図る。

〔4〕 諸外国との教育の交流ならびに情報交換等

教育も国際化が進展する中でインターネットなどの積極的な活用により、海外との情報交換に努めるとともに、「わが国の私学教育」を発信することにも、一層意を用いていく

〔5〕 教育に関する図書および印刷物の作成・頒布等

1 紀要および調査資料の刊行・配布

主任研究員・専任研究員および委託研究員の研究調査の成果を、「紀要」および「調査資料」として刊行し、私立中学校・高等学校に配布するほか、国公立の教育機関、関係官庁、図書館等に配布する。

2 研修会報告書の刊行・配布

一般研修事業で実施した各種研修会の研修内容をホームページに掲載し、私立中学校・高等学校等に配信する。

3 初任者研修用資料の作成

初任者研修の手引き(ブックレット)や地区研修・全国研修で使用するテキスト等を作成し、私立小学校・中学校・高等学校等に提供する。

4 研究所著作物の市販化

〔6〕 関係諸団体との連絡提携

- 1 本研究所の母体である日本私立中学高等学校連合会との連携・協力のもと各種事業を実施する。特に本年度より実施する新たな研修体制については、円滑に実施するために多岐わたる支援・協力をお願いするものである。
- 2 財団法人私学研修福祉会、各都道府県私学協会、国立教育政策研究所、その他、各種教育機関、教育研究機関と緊密なる連絡連携を行う。

〔7〕 諸会議の開催

寄附行為および関係規則等に定めるところにより、理事会、評議員会、監事会、研究・研修統轄会議、初任者研修等地区運営委員全国会議、研究成果発表会等を開催する。

〔8〕 広報活動の展開

当研究所の最新事業・業務を各学校をはじめ関係者に伝えるべく私学ネット、私学時報等の活用をすすめる。

〔9〕 その他

1 教員免許状更新講習事業について

当研究所は、本年度(平成21年度)から開始された教員免許状更新講習では、講習開設団体として私立学教員を対象に33講習会(募集定員3760名)を申請し開設した。しかし、全体的に受講者数が非常に少なく、10月以降に実施を予定していた講習会については、政権交代にともなう与党の教員免許状更新制廃止の方針を受け参加申込みの取消しが多数あり、講習の開設要件を満たさなくなり日本私立中学高等学校連合会との協議の結果、やむを得ず開催を中止した。結果として、受講者数は979名(受講率約26%)であった。

なお、文部科学省では、平成22年度中は法改正は行わないとして21年度と同様の対応をしているが、政府の方針としては、年度内にも当該制度を見直すということで検討を始めている。これを受け当研究所では、21年度の実績また各地区の動向も鑑みながら講習開設の検討をした結果、講習会を必ずしも開設する状況にはないとの判断から22年度においては、教員免許状更新講習の実施を見送った。

2 事務所の移転

現在の麴町事務所を平成22年5月に下記の場所に移転をする。

移転場所 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

3 事務所の移転に伴う寄附行為の変更

移転にともなう住所の変更および文言の変更・整合性を図る。

4 新公益法人への移行について

平成20年12月に施行された公益法人の改革に伴い、一般財団法人が公益財団法人への移行申請を行い平成25年11月末までに移行を完了しなければならない。については「新公益法人検討委員会(仮称)」を設置し具体的な移行の検討を始める。

5 創立50周年行事について

当研究所は、当時の文部省から昭和38年8月10日付で設立が認可され、平成25年に50周年を迎える。については、この50周年行事の実施について検討を行う。

以上

平成22年度 地区別研修会実施計画一覧

別表1-4

回数	地区名	会期	開催地	会場	研究目標	募集人員
第50回	北海道地区	9月28日(火)～29日(水)	札幌市	札幌ガーデンパレス	(未定)	150名
第49回	東北地区	7月29日(木)～30日(金)	米沢市	伝国の社 外	教育は地方の私学から	300名
第45回	関東地区	11月25日(木)～26日(金)	横浜市	横浜ロイヤルパークホテル	特色ある私学教育と教員の資質向上	175名
第47回	中部地区	9月16日(木)～17日(金)	甲府市	山梨学院大学	活力ある私学教育の創造	600名
第26回	四国地区	10月28日(木)～29日(金)	徳島市	徳島文理中学高等学校	生徒一人ひとりの夢を豊かに実現する私学教育	260名
計						1,485名

平成22年度 府県別研修会実施計画一覧

別表1-5

回数	府県名	会期	開催地	会場	研究目標	募集人員
第42回	青森県	8月16日(月)～17日(火)	八戸市	八戸プラザホテル	私学の独自性を高める～建学の精神に根ざした教育	250名
第36回	岩手県	8月5日(木)	盛岡市	サンセール盛岡	(未定)	150名
第41回	秋田県	10月1日(金)～2日(土)	秋田市	聖霊女子短期大学付属中学高等学校	県私立中学高等学校協会加盟校相互の提携協力によって、日常化されている各部会の成果を総合的に発表し、教育活動の推進と私学人としての意識の高揚及び資質の向上を図り、併せて私学の充実発展に寄与することを目的とする。	230名
第36回	新潟県	8月18日(水)～19日(木)	南魚沼郡	NASPAニューオータニ	(未定)	200名
第22回	千葉県	11月(未定)	千葉市	千葉県私学会館	〈教科別〉教科に関する教育の研修を通じ、教育の資質向上を図り、学習指導の強化・研究に資する。	330名
第29回	富山県	8月24日(火)	富山市	北日本新聞ホール	信頼される私学をめざして	240名
第37回	石川県	8月25日(水)	金沢市	北陸学院中学高等学校	活力ある私学教育の創造	330名
第40回	長野県	10月7日(木)～8日(金)	松本市	エクセラシオン高等学校	新しい時代を担う魅力ある私学教育～生徒指導及び学習指導上の諸問題について	140名
第35回	静岡県	6月16日(水)～17日(木)	静岡市	清水ナショナルトレーニングセンター	〈中堅教員〉在職期間が10年以上に達した教員を対象として、社会の進展に対応できる教員の資質向上を図り、教職の専門性を更に深めるとともに、中堅教員としての自覚を高める。	40名
第41回	愛知県	11月9日(火)～10日(水)	名古屋市	名古屋ガーデンパレス	新しい時代を切り開く私学教育	160名
第43回	滋賀県	8月20日(金)	近江八幡市	滋賀県立男女共同参画センター	学校現場が抱える様々な課題に対応する的確な指導技術の習得と社会が求める中等教育のあり方について研究を行い、私学教育を力強く推進する。	500名
第41回	大阪府	11月18日(木)～19日(金)	大阪市	大阪ガーデンパレス	〈生徒指導〉①20年余にわたり調査・研究を行ってきた大阪府下私立高等学校における「退学率・留年生の調査」を本年度も行い、その結果について報告する。②大阪府下の私立中学校・高等学校を対象とした生徒指導上の調査・研究や、各部会・各学校で日々取り組まれている教育実践・指導事例を報告する。③上記の事柄について研究・協議を行って、生徒指導に対する認識をより深め、今後の指導に活かす。	280名
第42回	兵庫県	7月27日(火)～28日(水)	神戸市	舞子ビラ	〈中堅教員〉学習指導、生徒指導等のスキルを向上させ、更に学校経営についての責任と自覚を持つ。	30名
		8月20日(金)			〈養護教諭〉専門知識や技術の習得及び他校との情報交換。	40名
第23回	和歌山県	8月2日(月)	橋本市	初芝橋本中学高等学校	時代を拓く人間教育～私学の役割	100名
第30回	島根県	11月26日(金)	益田市	明誠高等学校	教育力の向上をめざして	100名
第43回	岡山県	7月28日(水)～29日(木)	岡山市	岡山プラザホテル	変革の今、私学教育の未来を考える	150名
第41回	広島県	8月19日(木)～20日(金)	広島市	広島なぎさ中学高等学校	特色ある私学教育の実践をめざして	500名
第42回	山口県	8月6日(金)	山口市	翠山荘	特色ある私学教育の創造～魅力と活力あふれる学校づくりの推進～	120名
第47回	福岡県	7月21日(水)～22日(木)	福岡市	福岡ガーデンパレス	〈学校事務〉事務職員の資質の向上と当面の諸問題について研修を図る。	100名
		10月29日(金)～30日(土)	筑後地区	(未定)		60名
第28回	佐賀県	8月19日(木)	佐賀市	グランデ・はがくれ	次代の担い手を育成するため、新しい教育内容の創造について研究・協議を行い、建学の精神に基づいた特色ある私学教育の充実・発展を期して、私学教職員の資質向上を図る。	140名
第40回	長崎県	8月6日(金)	諫早市	L&Lホテルセンリユウ	〈学校事務〉学校事務職員の資質向上と当面の諸問題について研修を図る。	60名
第39回	大分県	7月22日(木)	(未定)	(未定)	特色・活力・魅力ある私学教育の創造～個性を伸ばし調和の取れた人格を育む心豊かな教育の実践～	175名
第41回	宮崎県	10月13日(水)	宮崎市	ホテルプラザ宮崎	生かせ！私学の独自性と魅力	170名
第39回	鹿児島県	11月(未定)	伊佐市	大口明光学園中学高等学校	(未定)	180名
計						4,775名

平成22年度 全国私学教育研究集会実施計画一覧

別表1-1

名称	会期	開催地	会場	研究目標	募集人員
第58回全国私学教育研究集会長崎大会	10月14日(木)～15日(金)	長崎県・佐世保市	ウインズ佐世保、ハウステンボス	時代を創造する人材の育成をめざして ～私学教育の挑戦～	700名

平成22年度 私学経営研修会実施計画一覧

別表1-2

名称	会期	開催地	会場	研究のねらい	募集人員
私学経営研修会	6月3日(木)～4日(金)	宮城県・仙台市	仙台ガーデンパレス	政策転換期を拓く私学経営と教育	150名

平成22年度 私立学校専門研修会実施計画一覧

別表1-3

名称		会期	開催地	会場	研究のねらい	募集人員
私立学校専門研修会	教育制度部会	10月29日(金)	東京都・千代田区	アルカディア市ヶ谷私学会館	教育制度改革の動向と私学の課題・展望	150名
	教育課程部会	(未定)	(東京都)	(未定)	(未定)	100名
	法人管理事務運営部会	8月27日(金)	東京都・千代田区	アルカディア市ヶ谷私学会館	活力ある学校組織運営に求められる管理事務職員の使命と役割	50名
	国際教育研究部会	9月18日(土)	東京都・千代田区	アルカディア市ヶ谷私学会館	グローバル化の中の国際教育 ～私学教育の現状と展望～	50名
	次世代リーダー育成部会	11月5日(金)または10日(水)	東京都・千代田区	アルカディア市ヶ谷私学会館 外	私立学校の未来を担うリーダーの資質能力とその育成 ～時代を生き抜く私学の戦略と挑戦を語る～	50名
計						400名

平成22年度 私立学校初任者研修 地区研修会 実施計画一覧

別表2-1

No	名 称	参加予定人員	会 期	会 場	参 加 対 象 都 道 府 県
1	北海道・東北地区	100	6月30日(水)～7月2日(金)の3日間	札幌ガーデンパレス	北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
2	北関東地区	70	6月9日(水)～6月11日(金)の3日間	ホテルレイクビュー水戸	新潟・茨城・栃木・群馬
3	関東地区埼玉県	80	7月26日(月)～7月27日(火)の2日間	埼玉県民健康センター(さいたま市)	埼玉
4	関東地区千葉県	50	6月14日(月)～6月16日(水)の3日間	OVTA[海外職業訓練協会研修センター](千葉市)	千葉
5	関東地区神奈川県	110	8月23日(月)～8月24日(火)の2日間	神奈川県私学会館(横浜市)	神奈川
6	関東地区東京都	300(合計)	1. 5月14日(金) 2. 8月17日(火)～20日(金)の4日間 3. 12月6日(月)	1. アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区) 2. YMCA東山荘(御殿場市) 3. 池袋防災館(東京都豊島区)	東京
7	北陸地区	40	8月2日(月)～8月4日(水)の3日間	ホテル信濃路	富山・石川・福井・長野
8	中部地区静岡県・山梨県	40	8月18日(水)～8月19日(木)の2日間	富士教育研修所(裾野市)	静岡・山梨
9	中京地区	100	8月18日(水)～8月20日(金)の3日間	名古屋ガーデンパレス他(名古屋市他)	岐阜・愛知・三重
10	近畿地区	160	8月18日(水)～8月19日(木)の2日間	大阪ガーデンパレス(大阪市)	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
11	中国・四国地区	100	8月2日(月)～8月4日(水)の3日間	高知市文化プラザかるぼーと	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
12	九州地区	130	6月30日(水)～7月2日(金)の3日間	唐津ロイヤルホテル(唐津市)	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
13	小学校(東日本地区)	100	8月3日(火)～8月5日(木)の3日間	OVTA[海外職業訓練協会研修センター](千葉市)	北海道・青森・岩手・宮城・福島・茨城・栃木・埼玉・千葉・神奈川・東京・静岡
	小学校(西日本地区)		8月2日(月)～8月4日(水)の3日間	大阪ガーデンパレス(大阪市)	石川・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・岡山・広島・徳島・高知・山口・福岡・長崎・大分・鹿児島・沖縄
合 計		1,380	※No. 1～12の参加対象学種は、中学校・高等学校・中等教育学校。No. 13の参加対象学種は、小学校。		

平成22年度 私立学校初任者研修 全国研修会 実施計画一覧

別表2-2

No	名 称	参加予定人員	会 期	会 場	参 加 対 象 学 種
1	全国(東日本)	60	10月22日(金)～10月23日(土)の2日間	クロスウェーブ船橋(船橋市)	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
2	全国(西日本)	60	10月29日(金)～10月30日(土)の2日間	大阪ガーデンパレス(大阪市)	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
合 計		120			

平成22年度 私立学校10年経験者研修会 実施計画一覧

別表2-3

No	名 称	参加予定人員	会 期	会 場	参 加 対 象 都 道 府 県
1	小学校夏期（東日本）	20	8月3日（火）～8月5日（木）の3日間	O V T A [海外職業訓練協会研修センター] （千葉市）	全国の小学校
2	中高校夏期（東日本）	60	8月3日（火）～8月5日（木）の3日間	O V T A [海外職業訓練協会研修センター] （千葉市）	全国の中学校・高等学校・中等教育学校
3	小学校夏期（西日本）	20	8月9日（月）～8月11日（水）の3日間	同志社女子大学（京都市）	全国の小学校
4	中高校夏期（西日本）	60	8月9日（月）～8月11日（水）の3日間	同志社女子大学（京都市）	全国の中学校・高等学校・中等教育学校
5	秋期（東日本）	50	10月22日（金）～10月23日（土）の2日間	クロスウェーブ船橋（船橋市）	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
6	秋期（西日本）	50	10月29日（金）～10月30日（土）の2日間	大阪ガーデンパレス（大阪市）	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
合 計		260			

平成22年度 私立学校実務者研修会 実施計画一覧

別表2-4

No	名 称	参加予定人員	会 期	会 場	参 加 対 象 学 種
1	教育課程と私学（東日本）	80	6月19日（土）の1日間	淑徳巣鴨高等学校（東京都）	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
2	教育課程と私学（西日本）	80	6月26日（土）の1日間	兵庫県私学会館（神戸市）	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
3	成績評価と指導要録（東日本）	80	11月6日（土）の1日間	主婦会館プラザエフ（東京都）	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
4	成績評価と指導要録（西日本）	80	11月13日（土）の1日間	京都私学会館（京都市）	全国の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
合 計		320			

平成22年度 研究員 研究題目一覧

2010/6/7

No.	区 分	氏 名	都道府県	所 属 名	研 究 題 目	備 考
1	主任研究員	山 路 進	東 京	日本私学教育研究所	私立学校の学校安全と危機管理（Ⅱ）	
2	専任研究員	山 崎 吉 朗	東 京	日本私学教育研究所	国際交流と複言語教育の推進	
3	専任研究員	大 森 隆 實	東 京	日本私学教育研究所	私立学校をとりまく諸事情と今日的課題（2）	
4	委託研究員	渡 辺 祥 介	北海道	札幌創成高等学校	高等学校公民科「倫理」における道德教育の展開	
5	委託研究員	森 田 寿	宮 城	尚綱学院中学・高等学校	探究学習を中心に据えた総合学習カリキュラムの開発と実践	
6	委託研究員	小 関 晴 彦	宮 城	聖ウルスラ学院英智小中学校・高等学校	早期英語教育を受けてきた子どもの実態及び中学校英語教育の対応	
7	委託研究員	佐藤 美奈子	宮 城	常盤木学園高等学校	「ICTモノづくり」による課題解決能力の育成	
8	委託研究員	荒 井 雅 子	埼 玉	立教新座中学・高等学校	世界史教育における地図資料の活用	
9	委託研究員	田 邊 潤	埼 玉	早稲田大学本庄高等学院	子供たちが意欲的に取り組める男女共修体育種目についての研究	
10	委託研究員	神 山 知 徳	千 葉	昭和学院中学・高等学校	歴史学習における戦争体験・戦後体験の聴き取り調査・レポート作成の授業実践と効果	
11	委託研究員	橋 本 悦 子	神奈川	カリタス女子中学・高等学校	高校生向け フランス語文法教科書（初級～中級向け）の作成	
12	委託研究員	岩 瀬 幸 子	神奈川	神奈川学園中学・高等学校	神奈川学園フィールドワーク「水俣」	
13	委託研究員	鈴 木 重 夫	神奈川	鶴見大学附属中学・高等学校	教科教室制運営における教職員の協働関係の構築について	
14	委託研究員	沖 田 耕 一	神奈川	聖光学院中学・高等学校	地場産業を利用した体験型学習のプログラム開発	
15	委託研究員	一ノ瀬 秀司	東 京	大妻中学・高等学校	他業種における広報展開の変化を踏まえた新たな入試広報展開	
16	委託研究員	山 本 昭 夫	東 京	学習院高等科	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲにおける読解力の向上	
17	委託研究員	佐 藤 克 行	東 京	駒沢学園女子中学・高等学校	アンケートシステムを利用した実験・観察授業による生徒理解度の研究	
18	委託研究員	島 津 靖	富 山	不二越工業高等学校	創造力の育成を目指した取り組みについて	
19	委託研究員	竹 内 久 代	長 野	エクセラン高等学校	地域参加を通しての環境学習のあり方	
20	委託研究員	島 崎 司	岐 阜	済美高等学校	高校生としての学力保証と生きる力を育む教科指導の在り方について	
21	委託研究員	田 中 竜 平	愛 知	星城高等学校	参加型学習による生徒の「読む力」・「書く力」の育成	
22	委託研究員	山 本 秀 樹	愛 知	金城学院中学校	金城学院中学校における生徒支援体制の構築と実践	
23	委託研究員	山 中 保 一	三 重	鈴鹿中学・高等学校	サイエンスに基ずるキャリア教育のあり方	
24	委託研究員	山 口 正 蔵	京 都	京都文教高等学校	教育評価「目標に準拠した評価」の実践的な具体化	
25	委託研究員	高 野 昭 雄	京 都	京都女子中学・高等学校	地元新聞記事を活用した戦後日本史の学習	
26	委託研究員	林 斉	大 阪	相愛中学・高等学校	関西地区における高大連携事業の実情について	
27	委託研究員	奥 村 賀 寛	大 阪	同志社香里中学・高等学校	国語教育におけるマインドマップの可能性	
28	委託研究員	寺 口 浩	兵 庫	神戸女学院中学部・高等学部	地域に根差した学校における国際人育成のためのカリキュラム・デザイン	
29	委託研究員	坂 本 瑞 穂	奈 良	奈良育英中学・高等学校	ものづくり～表現する力を育てる焼き物教育～	
30	委託研究員	野 村 泰 介	岡 山	山陽女子中学・高等学校	地域の歴史文化の継承	
31	委託研究員	林 秀 俊	岡 山	岡山中学・高等学校	英語教材開発研究	
32	委託研究員	岡 室 薫	広 島	広島文教女子大学附属高等学校	女子生徒の特性を生かした自立への取り組み	
33	委託研究員	増 井 洋 介	熊 本	尚綱高等学校	生徒を育てる担任力	